

## エネルギー・環境



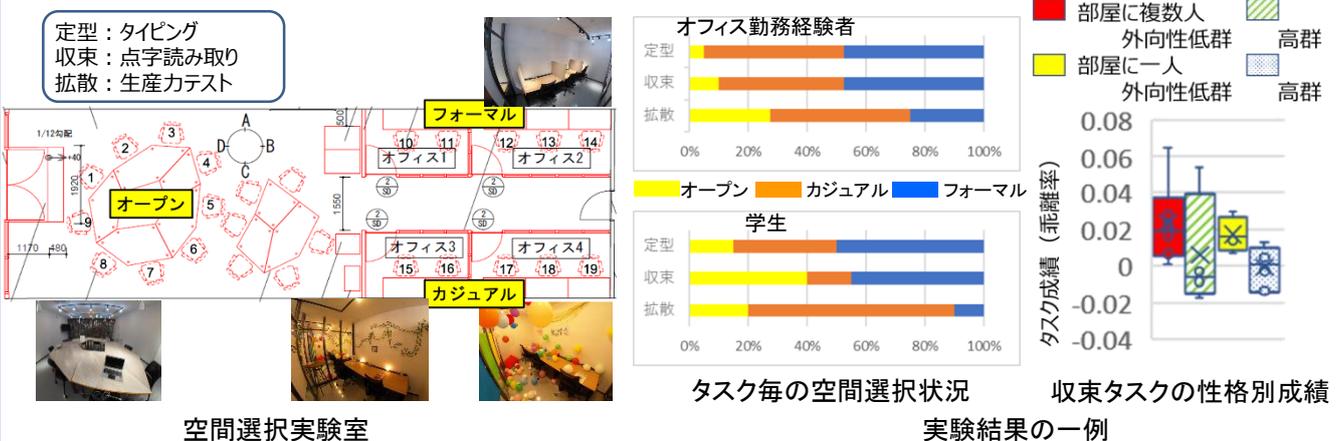
キーワード：多様な環境、自己選択、ABW（Activity Based Working）

### ABWオフィス環境設計に関する研究

理工学部 住環境デザイン学科 教授  
**樋口 祥明 HIGUCHI Masaaki**

### 研究の内容

近年、新価値創造に向けて創造性の発揮や共創活動などが重要視されている。そのような社会背景を受け、仕事の内容に応じて多様性をもって設計された空間の中から、働く空間を自己選択するABW(Activity Based Working)の導入が注目されている。ABWはこれからの働き方として期待されるが、多様な各空間の必要面積設定や配置計画が難しいなど、空間設計に対する課題がある。行為【①業務内容（定型作業・収束思考・拡散思考）、②フォーマル・インフォーマルコミュニケーション、③休憩、④在宅時等】に加え、個人の性格等によって、好まれる環境が異なってくるという基礎データを得た。



### 産学連携・社会連携へのアピールポイント

知的生産性・創造性向上のためのワークプレイス計画は、経営資源の有効活用において重要である。ABWは均質な空間・環境から多様で変化ある空間・環境への転換を図り、フリーアドレスを進化させ仕事をより効率的に行うことを可能とする。その設計に資するデータを得ることは企業価値向上に有用である。コスト削減・従業員満足度向上・省エネルギーにも貢献できる可能性がある。

### 居住環境計画研究室

URL : <https://www.led.setsunan.ac.jp/laboratory/post-18.html>

